

審議会名	令和4年度 第3回前橋市スポーツ推進審議会
日 時	令和5年2月20日（月）午後2時00分～午後3時20分
場 所	総合教育プラザ6階 63研修室
出席者	（委員：8人） 遠藤会長、蜂須副会長、狩野委員、滋野委員、静委員、永井委員、阿久澤委員、曾根委員 （事務局：6人） 新井文化スポーツ観光部長、佐藤スポーツ課長、田村補佐、萩原補佐、関口主事、加藤主事、亀井職員
欠席者	塩原委員、中雄委員、松本委員、小山委員
内 容	【審議会】 1 開会 2 あいさつ 3 議題 （1）審議事項 前橋市スポーツ推進計画について （2）その他 4 閉会
決定事項	・スポーツ推進計画第4章から第5章について、案のとおり決定された。 ・キャッチフレーズは、次回の審議会に諮ることとなった。
配布資料	前橋市スポーツ推進計画（修正案）
問合せ先	スポーツ課スポーツ施設係 027-898-5832

【審議会】

1 開会（事務局）

2 あいさつ

遠藤会長

3 議題

（1）審議事項

前橋市スポーツ推進計画について

（事務局）

資料に基づき、前橋市スポーツ推進計画修正案を説明。

（遠藤会長）

第4章施策の展開、第5章役割と進行管理について、第1から第3章を参考に皆さんの意見を伺いたい。

（静委員）

20ページのライフステージに応じたスポーツ活動の推進の項目にSDGs推進について記載があるが、SDGsは幅広い分野の取り組みなので、個別の目標に掛かるのは違和感がある。

また、近年はe-スポーツやアーバンスポーツなど新たなスポーツがとりあげられているので、表記されても良いのではないか。

（遠藤会長）

SDGsは世界中の環境問題など様々な課題に対し持続可能な開発目標を掲げ、2030年までに解決していこうとする国際的な取り組みと認識している。

そのような点からすると、全般にとのイメージはある。

（阿久澤委員）

そのとおりだと思う、SDGsが掛かる部分が狭いと感じた。

（蜂須副会長）

東京オリンピック・パラリンピックでも新しい種目が採用され、日本の選手も活躍されていた、オリンピックの金はすごくインパクトがあり、目を輝かせている子どもがいて、そういった子ども達の希望をどう支えていくかと言うことも大事ではないか。

また、不動産会社がホテルやスケートボードエリアを作ったりするまちづくりを見たが、前橋でアーバンスポーツが出来る環境づくりも検討できるのであれば、そういったニーズに答えることも必要になってくるのではないか。

(事務局)

環境整備やスポーツ人口を増やす事を目標にすべきで、結果的に競技力が向上するかもしれないが、それ自体は馴染まないという理解でよろしいか。

(遠藤会長)

新しいスポーツや環境とSDGsの関わりが上手く表示できれば良いのではないかと。

(静委員)

その競技に興味を持つことが大事だと思う、興味を持つことが競技力向上に繋がっていくのではないかと。

国体やオリンピックに向けて、アカデミーなどでもよいが、競技水準の向上と言うと、ひとつの市というより国や県など上位機関の取り組みのイメージがある。

(静委員)

オリンピックや群馬国体に向けて、市が取り組む目標とするのは難しいと思う。

(遠藤会長)

私が思うのは競技力と言うか選手が活躍するためには、大会ボランティアや競技施設などいろいろなスポーツを支える環境が必要だと思う、その部分を見ていければ良いのではないかと。

(永井委員)

競技力について、子ども達は楽しくないと運動を続けていけないと思うので興味と関心が持てるように体を動かすことが楽しくなるような取り組みが、向上することに繋がるのではないかと。子どもの事を考えて、楽しく興味関心がもてる事を考えられると良い。

(狩野委員)

競技人口の増加もそうだが、子どもたちが楽しんでスポーツをやることによって、いろいろな良い面が増えてくる、子どものスポーツ人口を増やすことも必要だと思う。

(曾根委員)

他に施設が無いからだと思うが、夜の駅前広場などでスケートボードをやっている人を見かける、ボードが飛んでくると危ないと感じるので近寄りがたい。

また、フットサルコートも民間施設はあるが使用料が高いので子ども達、学生などは気軽に使用できない、公共施設があると良い。

(静委員)

スケートボードについては、前橋総合公園の拡張工事に計画があるが整備されるまでに相当時間がかかるので、公園の一部を使用できるようにしたところ、利用者があった。

(事務局)

前橋公園内にある親水公園の一部も、整備を進めている。

(曾根委員)

小さくても良いので、手軽に利用できる場所があると良い。

(遠藤会長)

バス停や駐車場でスケートボードをしている方がいた、板がぶつかるとうすごい音がして、自身もそうだが周囲の人の怪我も心配になった。

そのような事を考えると、時間はかかるが利用できる場所、環境を作らなくてはと思うのと利用者も必要な装備を付けたほうが良いと感じた。

(静委員)

施設整備には時間がかかるので、利用できる場所を提供し規則守って利用いただくとよいのではないかと、若い子達は施設が整備されなくても場所を提供すれば利用する、そう言うスタンスが必要だと思う。

(滋野委員)

市民プールの南側に公園がありバスケットゴールが一つある、朝の早い時間だったが子どもたちが活き活きと利用するのを見た。

スケートボードに限らないが、どこで何が利用できるかなどマップ等で周知できると良い。

(蜂須委員)

進行管理に目標値が示されていないが、計画見直しにあたっては、何かしらの数値がないと振り返りができないと思う。

(遠藤会長)

軽スポーツなどを広める機会など実施できたかなどの見直しも必要になるのではないかと、ある程度の目標とする数値が具体的に必要と考える。

(静委員)

このなかに数値設定は難しいと思うが、ボランティア、ライフステージにおける現状を押さえておかないと3年後の数値が把握できない。

(事務局)

今回の計画では、資料編として施設利用率などの現状を示したいと考えている、この現状が3年後にどのような数値になったのか、取り組みが正しかったのかなどの実績を踏まえ、目標値を設定し計画の見直しを進めていきたいと考えている。

(静委員)

例えば、スポーツ少年団の加入率向上をどうしていこうかとした場合、何年前から下降しているのかとか、何が問題なのかある程度の数字は把握しておく方が良い。

(遠藤会長)

キャッチフレーズについて、皆さんの意見をお伺いしたい。

(遠藤会長)

ささえるについては世代により開催支援やボランティア活動など受けとり方がいろいろあるとは思いますが、基本的には候補にある、「する・みる・ささえる」のフレーズを主に考えることで良いのではないか、2つめの誰もが、3つめのいつでもスポーツも「する・みる・ささえる」に繋がると考えられる。

みなさんのご意見を確認したい。

(滋野委員)

マスターズ水泳大会に参加した際に競技役員の募集を目にした、例えば1種目だけ参加する選手が競技に参加する以外の時間を競技役員として携わり、大会を支援している。競技役員が不足していて選手が運営を兼ねている状況であった。

お金ではなく、応援、助けてあげることが「ささえる」になるのではないかと考える。

(永井委員)

学校体育の授業で、マット運動が出来る子どもが、出来ない子どもに対して出来るように教えている、これも「ささえる」ことになると思う。応援してあげるとか、教えてあげるとかも支えるになるのではないか。

(遠藤会長)

支えるにも色々な意味がある。我々経済界で言えば、金銭面での支援となってしまう。

(阿久澤委員)

前回の審議会で、「する・みる・ささえる」のワードが入ったほうが良いと発言した、一種のキーフレーズだと思うので、キャッチフレーズとして残したほうが良い。

(曾根委員)

ささえるという点は深いなと思うので、入れたほうが良い。

(蜂須副会長)

前回の群馬国体において、民泊など地域の婦人会などいろいろな業界が協力して対応した経緯がある。今は国体のような全国規模大会の時に対応できる組織がないと思うので、大きなイベントをささえるような人たち、それに関わる地域の少年団などを含めて、そういった形が、「ささえる」の輪になるのではないか。

(滋野委員)

「する・みる・ささえる」を使って前橋らしさを入れるのはよい。

利用できる施設の環境だが、仕事終わりに練習をしたくても公園のプールは閉まっている、民間のスポーツジムは遅くまで人が集まっているなど利用できる施設に限られる、社会人に対応で

きる施設があると良い。

(狩野委員)

「する・みる・ささえる」を残したほうが良い。

(遠藤会長)

スポーツをする、みるということはあったが、ささえるは今までになかったので意識していきたい、ささえる人が出てくることによって変わっていくので、ささえる人がどうすれば出てくるか、その点が大事になると思う。

キャッチコピーの「する・みる・ささえる つながる人々スポーツのまち前橋」は良いが、「人々」は無いほうが良いと感じる、皆さんの意見を頂きたい。

(静委員)

同意見である、「する・みる・ささえる」に続く言葉をどうするかになる、もう少し検討することとし、選ばせてもらいたい。

(曾根委員)

わかりやすく短い方が良い、いらないと思う部分は省いた方がすっきりする。

(滋野委員)

元気みたいな言葉があっても良いのではないかと思うが、「する・みる・ささえる」は決定とし、以降のフレーズを考えもう一度審議することで良い。

(遠藤会長)

キャッチフレーズについては、「する・みる・ささえる」を入れてシンプルでわかりやすいものが良いとの意見である、次回の審議会で審議していきたい。

4 閉会